

3コース

プライマリーコース
レクチャー

定員:60名

7月28日(日)

時間 10:00~16:00

会場 大阪歯科大学 天満橋学舎

対象 歯科医師・歯科衛生士・学生

歯科医師(会員)10,000円、歯科医師(会員5年未満)5,000円

研修費 歯科医師(会費未納者、他大学)20,000円

歯科衛生士3,000円、学生無料

何から始めたらいいの? 歯科訪問診療!

～ 知って安心、在宅医療～



芦田 貴司

[略歴]

1991年 大阪歯科大学卒業
 1996年 大阪歯科大学大学院修了
 1996年 大阪歯科大学歯科補綴学第一講座 非常勤講師
 1996年 阪神福祉事業団阪神福祉センター 歯科勤務(非常勤)～1997年
 2012年 日本老年歯科医学会 専門医・指導医
 2018年 日本老年歯科医学会 摂食機能療法専門歯科医師

自院の患者さんから、あるいはそのご家族から訪問診療の依頼があったら、それにこたえることができますか? 介護保険、老々介護、認認介護、介護疲れ、認知症、胃瘻、誤嚥性肺炎、脳梗塞などなど、我々の周りには超高齢社会を反映した言葉があふれています。厚生労働省の統計では今後、本邦は人口減少をきたす一方、65歳以上の高齢人口の構成比率はますます増加していきます。このように高齢者が増加した社会では、今まで自院に通院可能だった患者さんが、様々な理由により通院が困難になったり、もしくは施設へ入所されるケースが増加すると考えられます。その時、患者さんにとって主治医が変更になることは不安材料の一つになります。たとえ治療場所は変わったとしても施設や在宅で、今までと同じかかりつけ医がその患者さんを診つづけることが、その患者さんに大きな安心感を与えることになります。

口腔に関しては、我々歯科医師や歯科衛生士がスペシャリストであり、他職種の方からは、連携をしたい職種のトップになっている事実からも、社会は我々歯科医療者が訪問診療の分野に入っていくことを期待していますが、それにこたえるためには、歯科医療に関する知識はもとより、他の分野の人達との連携を深めていくための知識を増やすことが大切です。

本講演では訪問診療を始めたくても何から始めたらいいのかわからない、介護保険がわからない、訪問診療について知識だけでも得たいと考えている先生方に、嚥下障害スクリーニング精密検査である頸部聴診実習や嚥下内視鏡検査、訪問診療における歯科衛生士の立ち位置について、そして個々の状況に合わせた支援方法の考え方を紹介します。